

健 診 後 の フ ォ ロ ー

動 向

予防医学協会は、より個人に即した対応を目指し、健康診断はもとより健診後の二次検査・精密検査、各種外来を利用した経過観察や保健相談、健康教育など総合的なフォローアップ体制で健康管理の支援をしている。

健康診断の受診者総数は、統計表（検診・検査の種目別実施数）を参照していただき、外来の実施数は下記のとおりである。

事後フォローの体制

消化器外来

消化器検診、腹部超音波検査後の精密検査およびフォローアップを実施している。（胃集団検診・超音波検診参照）

循環器外来

人間ドック、定期健康診断などの循環器系項目で所見のあった受診者に対して精密検査や栄養指導・運動指導・生活指導などのフォローアップを実施している。（循環器精密検診参照）受診者 1,776名

生活習慣病外来

定期健康診断、その他の生活習慣病関連項目で、所見のあった受診者に対して再検査、精密検査を実施し事後指導を行う広い範囲の生活習慣を改善することを目的とする外来で、結果に応じてメタボリック（内臓脂肪）外来や生活習慣病改善プログラムへの参加を勧奨している。受診者 658名

メタボリック（内臓脂肪）外来

メタボリックシンドロームは内臓脂肪型肥満に着目した生活改善の重要性が認識され、当協会では平成18年8月よりメタボリック（内臓脂肪症候群）外来を開設している。6ヶ月のコースでは、初回に腹部CT検査を実施して内臓脂肪面積を測定し動機づけを行い、歩数計、50g精密体重計、血圧計を貸し出し自己管理を継続させる。また管理栄養士による食事調査とあわせて月に1回医師、管理栄養士が面談し指導、評価を行う。受診者 143名

労災保険二次健康診断

2001年より職域における心疾患・脳血管疾患の予防、早期発見を目的として定期健康診断でBMI、

血圧、脂質、血糖の4項目全てにおいて所見のあった受診者に対し血液検査、頸部エコー、負荷心電図（心エコー）を行い、保健指導を実施している。必要な場合、各専門医療機関への紹介を行う。受診者 56名

腎臓病外来

昭和51年から学校検尿で管理が必要な学童に対して、月1回腎精検のための外来を設け学童の家族相談なども実施している。また事業所の健診などで腎疾患の疑いのある人を対象としたフォローアップも実施している。受診者 87名

糖尿病外来

糖尿病の大多数は、生活習慣が発病に大きく関与する2型糖尿病であり、健診で所見のあった人に食生活を中心とした生活習慣の改善を目的としたセルフコントロールの支援を実施している。受診者 83名。

女性クリニック

更年期障害をはじめ女性の不定愁訴などの相談に応じている。年齢階層別は50歳～55歳を中心に45歳～60歳に多く、ホルモン補充療法に対する要望も多い。受診者 20名

骨粗しょう症外来

骨粗しょう症予防検査で生活注意、要治療対象者には栄養指導を中心とした事後フォローを実施している。受診者 128名。

禁煙外来

ニコチン依存症は現在ではニコチンには精神的依存性だけでなく、肉体的依存性もある事が明らかとなり、「ニコチン依存管理料」が健康保険適用となった。

当外来ではニコチン依存度のスクリーニングテスト（TDS）とプリマリン指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）によって保険適用の是非を確認し、『禁煙治療のための標準手順書』に従い指導を実施し、ニコチンパッチ剤や内服剤の処方も行っている。また呼気中の一酸化炭素濃度の測定結果をグラフなど視覚で確認しながら専門医師、専任看護師、薬剤師がチーム医療として禁煙のサポートをし、禁煙成功者には認定証を渡している。受診者 186名。